

第7回年次大会

◎統一テーマ：『海洋の未来と日本 ―海洋の持続可能な開発に向けて―』

◎日時：2015年12月5日(土) 9:30~17:45 (交流・懇親会 18:00~)

◎場所：早稲田大学理工学術院(西早稲田キャンパス) 63号館 2F 4, 5教室

◎プログラム

9:30 開会挨拶 日本海洋政策学会会長 奥脇 直也

9:35 基調講演

「成長戦略としての海洋政策」

西村 康稔 (衆議院議員)

「海洋の持続可能な開発に向けた今後の在り方」

竹内 俊郎 (東京海洋大学学長)

10:35 研究発表(その1)

【座長 横木 裕宗 (茨城大学教授)】

「水産物消費に由来する活性窒素の環境負荷評価とその低減策」

種田 あずさ (横浜国立大学大学院)

「太平洋島嶼国の海洋管理能力と国際協力の現状と可能性」

早川 理恵子 (笹川平和財団/オタゴ大学大学院)

「ドイツ・ブレーマーハーフェン市における洋上風力産業振興の成功要因 ―経済振興組織の役割に着目して―」

竹内 彩乃 (名古屋大学助教)

「いわゆるグレーゾーン事態における強力的措置と国際法 ―外国船舶への対応を中心に―」

吉田 靖之 (海上自衛隊/大阪大学大学院)

<12:10~13:10 昼食>

12:30~13:10 ポスター セッション (場所: 2F 発表会場前ロビー)

(発表者は次頁参照)

13:10~13:40 第7回 定例総会(会員)

13:40 研究発表(その2)

【座長 松田 裕之 (横浜国立大学教授)】

「沿岸域総合管理の管理組織と多段階管理仮説」

日高 健 (近畿大学教授)

「海洋予測システムの活用による研究者と市民社会の沿岸域総合管理に向けた協創可能性」

美山 透 (海洋研究開発機構主任研究員)

「対馬・五島における国立・国定公園の海洋保護区のECO-DRRとしての機能」

清野 聡子 (九州大学准教授)

「地方公共団体における一般海域の管理に関する条例の現状」

中原 裕幸 (横浜国立大学客員教授)

<15:15~15:40 休憩>

15:40 パネル・ディスカッション: テーマ【海洋の持続可能な開発と保全】

モデレータ: 道田 豊 (東京大学教授)

パネリスト: 荒川 忠一 (東京大学教授)

柴山 知也 (早稲田大学教授)

白山 義久 (海洋研究開発機構研究担当理事)

中田 薫 (水産総合研究センター研究主幹)

許 淑娟 (立教大学准教授)

17:40 閉会挨拶

日本海洋政策学会副会長 來生 新

18:00 交流・懇親会 … 場所: 1F ホール

◎ポスターセッション 12:30~13:10 (場所: 2F 発表会場前ロビー)
(敬称略、順不同)

「サクラマスを用いた水圏環境教育プログラムによる流域の内発的發展に向けた取り組み」

水谷 史門 (東京海洋大学大学院)

「COMMUNITY-BASED ECOTOURISM IN THE CREATION OF A JAPANESE MODEL OF ECOTOURISM CORRIDORS.
CASE OF STUDY: HEI RIVER, IWATE PREFECTURE」

Nieda Tsuyoshi Eduardo (東京海洋大学大学院)

「さけ・ます流し網漁とさんま棒受け網漁の兼業船の現状と大型化に関する一検討」

南澤正樹 ((株)三保造船所 課長補佐)

「海洋深層水の大規模な活用を進めよう -日本の輝かしい未来のために-」

久田 安夫 (NPO 海口マン21 理事長)

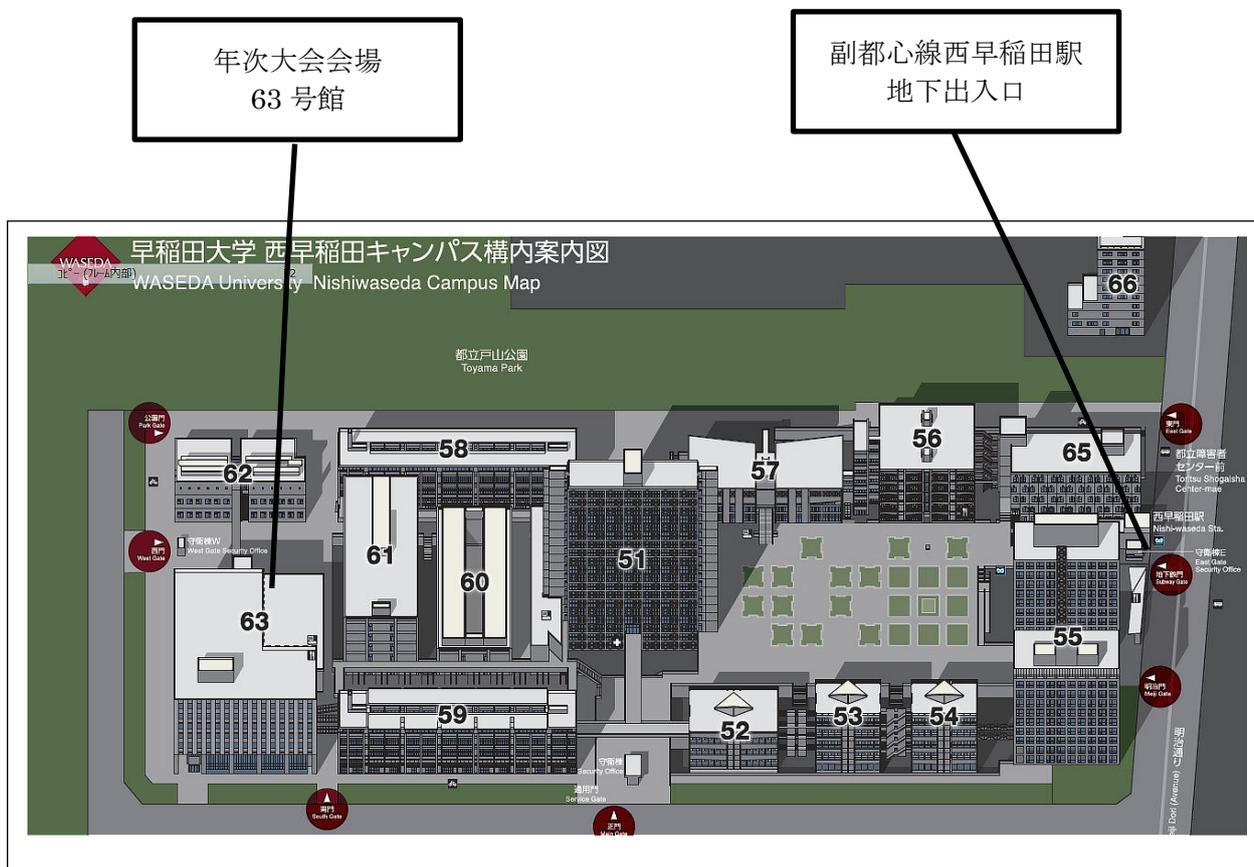
◎参加費: 年次大会 学会員 2,000円 非会員 3,000円 (学生会員無料、学生非会員1,000円)
(日本沿岸域学会員の方は会員価格で参加できます)

交流・懇親会 一般 4,000円 学生 1,000円

◎参加申込: 当学会のホームページ上から所定の申込書を利用してお願いいたします。
(<http://oceanpolicy.jp>)

〆切 11/27 (金)

【参考: 早稲田大学理工学術院 西早稲田キャンパス構内案内図】



【交通アクセス】

- (電車で) メトロ副都心線 西早稲田駅に直結
JR 山手線、西武新宿線高田馬場駅から徒歩 15 分
東西線 早稲田駅から徒歩 22 分
- (バスで) 学バス 新宿駅西口 - 早稲田、都立身体障害者センター前バス停下車
高田馬場駅 - 九段下、都立身体障害者センター前バス停下車

【副都心線と他線との接続】

- 丸の内線、都営新宿線：新宿三丁目 千代田線：明治神宮前
- JR 山手線：池袋、原宿、渋谷 東急東横線：渋谷 都営大江戸線：東新宿

